

みんなでかんさつ隊 定例観察会 「真夏の夜の夢、セミの変身を見よう！」

日時／平成 30 年 7 月 21 日(土)

場所／鶴見緑地公園 天候／薄曇り

スタッフ／7 名

参加者／大人 47 名、子供 58 名 合計 105 名

観察内容／今年は梅雨明けした 9 日から本格的にクマゼミが鳴き出しました。本来であれば羽化真っ盛りのはずですが、この 1 週間猛暑が続いたためか、昼間の鳴き声の割には羽化が少なめの観察会となりました。しかし、参加者は 105 名とみんなでかんさつ隊史上、2009 年 7 月のセミ羽化観察会 120 名に続く 2 番目の多さ。スタッフはてんてこ舞いの状態で、参加者の皆様には、行き届かない点多い観察会になったのではないかと考えています。

まずは、アブラゼミが鳴く中、スタッフによる「セミ太郎の一生」の紙芝居を上演。暗くなってから、抜け殻集め用のビニル袋と懐中電灯を持って、いのちの塔前から花の谷に移動。木を登る幼虫、静止している幼虫、背中が割れ出した幼虫、殻から抜け出そうとイナバウアーをしている幼虫、羽を伸ばした幼虫など、羽化の全ての段階を見る



ことが出来ました。ただ、羽化のピークは 8 時半ごろで、抜け殻調べのため、いのちの塔に戻ってきたのが、9 時ごろになってしまいました。それから各自が集めた抜け殻をセミの種類と雄雌別に分類し、牛乳パックで作った入れ物に入れて、お土産として持って帰ってもらいました。抜け殻はクマゼミが主でしたが、アブラゼミの抜け殻も多く見つかりました。

